

～近未来ファンタジー～

ペコと秘密の樹

作/鷺淵貴士
 演出/関根信一
 演出助手/大淵弘幸
 美術/ナカムラジンの浅野井優子
 音楽・効果/曲尾夜虎
 衣裳/坂本真彩
 身体表現/若林宏二
 制作/浅野井優子

今ならまだ間にあう
 僕の中に自分を救う力がある
 一人ひとりの中にこの世界を変える力がある

希望と再生の物語

遠い遠い昔、大きな戦争があった。
 人間が作り出した恐怖の火のカケラが
 世界中に砕け散り、戦いは終わった。

カケラがすべて取り除かれたとき
 世界は再生を始めるといふ

ペコは島々をめぐるカケラを集めていた。

ペコが最後にたどり着いた島。

植物も生き物もない荒れ果てたその島には
 人々を幸せに導く一本の樹があった。

知りがりやのペコと少年の出会い。

島に隠された秘密。樹が導く“幸せ”とは。

ペコはすべてのカケラを集めることができるのか。

そして未来は…。

「ペコと秘密の樹」は未来の地球を舞台にしたSFファンタジーです。

島の少年ロクキウはペコに出会うことで変わっていきます。

初めは島の生活を脅かすものとして拒否しますが、物語を通じて
 最後にはかけがえのない友だちになります。自分と違うものを受け入れることと、
 自ら一歩踏み出すことの大切さがこの舞台には込められています。

劇中に登場する「じゃんけん」「しりとり」「あっち向いてホイ」といった
 遊びの数々やみんなでおいにぎりを食べるエピソードは、この作品を
 今の子どもたちにとって身近なものにしています。遊びや食べることは
 子どもの本能ともいえるもので、今も未来も子どもたちが困難を乗り越える
 原動力となるに違いありません。

子どもたち一人ひとりが、この作品からどんな風景を想像するのか、
 何を受けとるのか、楽しみに
 しています。

演出◎関根信一



この芝居を通して子どもたちに、主人
 公ロクキウと一緒に迷い、考えてほし
 いのです。周りのことに関心を持ち、気づ
 き、求め、調べていくこと、発見する喜び
 を知ることが生きる力につながると思っ
 ています。

作◎鷺淵貴士

